

桜の聖母短期大学
親と子の広場

小さなクラスの

さくらっこだより

火・金曜日

2015年10月号

大変お待たせしました！

新しい保育室での「小さなさくらっこ」が10月2日より再スタートです。8月に保育室の改修工事が完了し、こども保育コースの学生100名と引越しをしました。新しい場所で戸惑うお子さんかもしれませんが、早く慣れて安心して過ごせるようになってくれたらと思います。

小さなさくらっこだより10月号では、7月の様子をお伝えすると共に、新しい保育室についてのご紹介もします。みんなの広場です。使いやすいようにご提案やアイデアをいただきながら、みんなで作り上げていきたいと思ひます。

これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

文責 奥田美由紀

<7月の広場より>



子どもの気持ちを支える時

Hくんと私は、紙テープをはさみで切って、カップに入れてご飯を作って遊びました。私が「スプーンが無いと食べられないなあ」と言うと、Hくんはままごとコーナーをチラッと見ましたが暗い表情です。「みんながいて行けないね」とHくんの不安（であろう）な気持ちを代弁すると、お父さんが「じゃあ、一緒に行こう」と手をつないで行ってくれました。帰りはスプーンを片手に笑顔で走ってきたHくん。子どもの気持ちがどう変化していくのか感じ取り、どこが親の出番なのかを判断し、子どもの気持ちを支えたお父さん。



次にお父さんが犬を連れてきて「食べたいな」と声を掛けると、Hくんがスプーンで食べさせてあげると、お父さんが上手に犬の口を動かし、おいしそうに食べるものだから、Hくんは声をあげて大喜び！何て良い表情をしているのでしょう！



一緒に遊んだね

MくんとAくんは、二人とも車が大好き！広場でよく起きる「おもちゃの取り合い」になるかな・・・と思ったら、Aくんのお母さんが上手に二人の気持ちを代弁しながら、相手の気持ちを伝えたり楽しさを共有したりしていました。大人と一緒にいる意味って、こういう時に感じます。



貸したくないのにショベルカーを降りてしまった

Hくんがショベルカーに乗っていると、Mくんが大きな声で「貸ーして」とやってきました。Hくんはとっさにショベルカーを降りました（降りてしまいました）。すかさずMくんが乗って行ってしまった時、Hくんは「わあー」と泣きました。貸したくなかった。でもとっさに降りてしまったのでしょう。「まだ乗りたかったのね」「悲しかったね」「じゃあ、返してもらおう」と、私はHくんと一緒にMくんを追いかけて「返して」と言い続けました。するとMくんは、ショベルカーを降りて、他の遊びを始めました。

自分のしたいことを主張して行動することはとても大事です。そして、相手にも思いがあることを遊びの中で経験し、感じていくのです。そこで、「悲しかったね」「どうしようか」と大人が子どもの気持ちに寄り添いながら、一緒に行動してあげ、一緒に乗り越えていくと、子どもは納得してすっきりとした表情を見せてくれます。解決を焦らずに、「いい経験しているな」と捉えてはいかがでしょうか。

こういう経験を通して学ぶために、幼稚園や広場はあるのですね。

狭いところ、囲われたところが大好き！

つい立てで囲って、中に入ってみると、子ども達も興味を持って集まってきました。家に見立てる子もいれば、開けたり閉めたりを楽しむ子、つい立てのポケットにビー玉を入れて遊ぶ子もいました。子ども同士のかかわりも生まれやすくなります。ご家庭でも、何かで囲って狭い場所を作ってみると、遊びが変化してくるかもしれませんね。



ままごとで「考える楽しさ」を育てる

Nちゃんが、ままごとでジュースを作ってご馳走してくれました。私が「のどが渇いていたからとってもおいしいわ。ありがとう」と言いました。そして「おなかがすいているので、肉と卵焼きとばななをお願いします」と注文しました。3つの食材を覚えて、その通りに届けてくれるでしょうか。しばらくすると、なすと卵焼きとばななを届けてくれました。「あれ？注文したのと違うな」と、もう一度3つの食材を伝え、ちゃんと注文通り皿に載せて届けてくれた。「あれ？何で食べようかな」と言うと、さっと走ってフォークを持ってきてくれました。

ままごとのやり取りの中で、注文の数を増やしたり、数人分まとめて頼んだり、その子に合わせて「頭を使う」ようにしていくと、子どもも楽しくなり、「もっともっと難しくして」と要求してきます。

ぐちゃぐちゃをしたい年頃

くれよんで画用紙にざーざー雨を降らせて遊んでいましたが、いまいち乗り気ではないHくん。本当にHくんがしたかったことは、クレヨンケースからぶちまけること、クレヨンに巻いてある紙をむいて裸にすること、机にぐるぐる描きをすること、床に描くこと！

・・・ぐちゃぐちゃをしたいんだな～

この時期に、ビーズをばら撒いてみたり、全身で泥んこ遊びをしたりすることは、その素材を知ると共に、自分を開放する大切な遊びです。

Hくん、今度思い切りやろうね！片づけは、大人の仕事だから、任せて！

相手の気持ちを感じながら

遊べる年長さん

Yくんは幼稚園の年長さん。夏休みなので、妹と一緒に広場へ来てくれました。積み木を縦



に並べたところ、Mくんがその上に車を並べ始めました。すると、Yくんは車を落とさないように上手に足場を見つけてその上を歩き出しました。それがだんだんスリルを味わうおもしろい遊びになってきました。たまたま車が落ちてしまうけれど、Mくんは怒らずと一緒に楽しんでいます。YくんがMくんの思いを感じ、大事にしながら遊んでいることが伝わるんだなあ…と感じたひと時でした。

優しさの中で育つと優しい子になる

Hくんが長細い缶にたくさんのペンを詰めたものをMくんがさっと取りました。一瞬の出来事です。Hくんは「だめー！」と言って表情を崩して激しく泣きました。私が「Hくんが詰めたペンだよね。取られたら嫌だよね。拾ってあげるね」と言って拾い始めると、周りに居た子どもも学生もみんなが拾いはじめました。すると、それを見ていたMくんも、「うんうん」と頷きながら一緒に拾い始めました。Hくんはすぐに泣き止み、部屋が優しい空気で包まれました。



みんなの優しい気持ち、嬉しいよね。
優しさって、伝染するんだなあ・・・

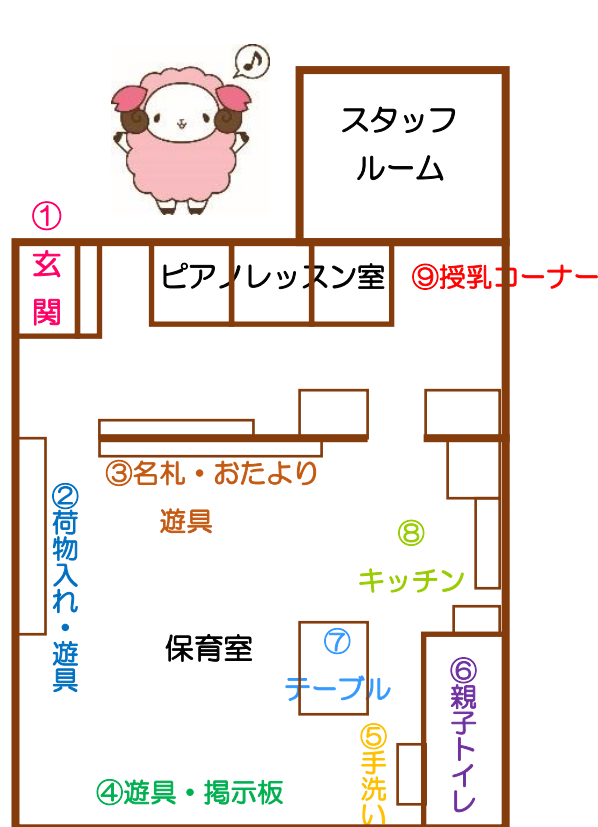
同級生と一緒に子育て

お母さん3人の後ろ姿をパチリ！なんと！3人は学生時代のお友達。同級生だそうです。夏に帰省したときにいつも集まるそうです。一緒に子育てしながら、育児の楽しさや不安を共感できる友達がいるって、本当にありがたいですね。

この広場で、子どもも一緒にのプチ同窓会、楽しんでください！



●新しい保育室のご紹介●



①こちらが玄関です。



オレンジのマットに腰を下ろして、靴を脱いだり履いたり出来ます。靴箱は好きなところを使ってください。

②荷物は、カゴへどうぞ。



カゴを床に降ろしてあげると、子どもも自分で自分の物をしまえます。カゴをどこに置いておくか、好きな場所を親子で決めてくださいね。

③名札をつけよう



名札は、五十音順に引出しに入っています。帰りのここに戻してくださいね。



②おもちゃを出して、遊ぼう！

棚から、好きなおもちゃを出して自由に遊んでください。絵本も読んであげましょう。タンスの中には、人形ごっこに使える物が入っています。



③木のおもちゃや素材も自由に使おう！

木のおもちゃも出して遊んでください。画用紙や折り紙、クレヨン、カップ…などなど、必要なものを出して、使ってください。



③おたよりをご自由にお持ちください

親と子の広場の案内リーフレットや毎月のおたより、野外保育のご案内など、こちらにあります。ご自由にお持ちください。



④みんなのお誕生表・ままごとコーナー

広場に来てくれている子ども達のお誕生表です。こども保育コースの1年生が作っています。お誕生日には、みんなで祝いましょう。ままごとコーナーでも遊んでくださいね。



④掲示板を見てみよう

掲示板には、さまざまなお知らせやご案内を掲示します。広場以外の情報共有など、保護者の皆様もご自由にお使いください。勿論、ホワイトボードに絵を描いて遊ぶのも楽しいですよ！



⑤手洗い

手を洗ったり、お水を飲んだりできます。手を洗ったら、ペーパータオルで拭きましょう。白いカゴは、ごみ箱です。（広場での病気の感染を出来るだけ防ぎましょう）



下の収納には、トイレの洗剤など、子どもに触れてほしくないものを入れて鍵をかけています。



⑥親子トイレ

大人のトイレの他、幼児用の洋式トイレがあります。しっかり足が着く高さなので、安定感があります。足が着くと、踏ん張れます。男の子は、立っておしっこが出来ます。



⑥おむつ交換台

おむつ交換にご利用ください。おむつ交換の後には、どこにも触ることなく手を洗えるように、ここの水道だけ自動です。

荷物置きの台もご利用ください。台の下には、掃除用剤があります。汚してしまった場合はご使用ください。



⑦集いのテーブル

ここは、「集う」テーブルです。棚にポットとお茶も用意しています。セルフサービスでお茶を入れて、ホッと一息つきましょう。保護者同士でおしゃべりしたり、スタッフに不安を相談したり、そんな場所になると良いなあと思っています。

また、保護者向けの本もご用意しています。どうぞご覧ください。



⑧キッチンもご自由に！

土曜日は、作って食べる簡単クッキングもします。平日は、お子さんの生活リズムに合わせて、ミルクの調乳や間食のおやつを電子レンジで温めたりなど、キッチンも自由に使ってください。

この大きな棚には、サランラップや使い捨てのカップ、食器や鍋が入っています。

右側の3段引出しには、食事用の布巾やおしぼり、ビニール袋が入っています。

左側の3段引出しには、水遊びや絵の具遊びの時のタオルや雑巾、手付きのビニール袋などが入っています。

遊びに合わせてお使いください。



ソファで、のんびりおくつろぎください。くつろぐ目的だけではなく、トランポリンになったり、ベッドになったり、離れ小島になったり、子ども達は面白いことを考えて遊びます！

⑨授乳コーナー

授乳のためのコーナーを作りました。赤ちゃんとの時間をゆったりと過ごしてください。



ベビーベッドは、静かな場所でもあり、目の届く場所にあります。赤ちゃんが眠ってしまったら、どうぞご利用ください。



パーティションの向こう側から、客観的に子ども達を見ているのも、ちょっと休憩するのにも良いコーナーです。



ピアノレッスン室の隣に、掃除用具があります。掃除機、コロコロなど、お使いください。

クッキングのご案内

10月13日(火)に梨を使ったクッキングを予定しています。

本学食物栄養専攻の木下ゆり先生とこども保育コースの学生が、子ども達と保護者の皆様のサポートをしながら、一緒においしいおやつを作ります。

10月10日(土)の野外保育「梨狩り」に申し込んだ方は、収穫体験の後のお料理体験として、「梨狩り」に行かなかった方ももちろん一緒に、おやつ作りを楽しみましょう。

費用は無料です。楽しく作っておいしくいただきますよう!

野外保育②

～国営みちのく公園 北地区 自然共生園で 野菜の収穫体験をし、自然の中で遊ぼう!～

国営みちのく公園「自然共生園」は、皆様ご存知の「みちのく杜の湖畔公園」とは違い、畑や水田、丘陵地の里山林、川や湿地などがあります。

畑では、様々な野菜が育っていますので、その様子を見ることもできます。今回は、大きな白菜の収穫を体験しましょう。そして、ヤギやヒツジ達と触れ合ったり、虫取りをするなど、自然の中でたっぷり遊びましょう。

1. 開催日 平成27年11月14日(土)

2. 場所 宮城県柴田郡川崎町

国営みちのく公園 北地区 自然共生園

※詳細は「野外保育のご案内」をご覧ください、そちらの用紙でお申込みください。

<10月の予定>

2日(金)

6日(火)

9日(金)

13日(火) クッキング

16日(金)

20日(火) お休み

23日(金) お休み

27日(火)

30日(金)

<11月の予定>

3日(火) お休み

6日(金)

10日(火)

13日(金) お休み

17日(火)

20日(金)

24日(火)

27日(金)

親子の広場のご案内

	小さな“さくらっこ”	“さくらっこ”
日時	火・金曜日 10:30 ~ 12:00	土曜日 10:00~12:30
場所	ミリアム館1階保育室	ミリアム館1階保育室
年齢	0歳~就園前	0歳~小学生
参加料	無料	500円(親子一組)(各回) 兄弟(3歳以上)はプラス300円
登録料 (保険料)	子ども一人当たり 300円(年1回) ※おうちの方と一緒に参加してください	
持ち物	特にありません ※日常、お出掛けの時に持参する飲み物や着替えなど、必要と思われるものを各自でご用意ください	
担当	桜の聖母短期大学 淋 光江 (土) 奥田美由紀(火)(金) こども保育コース教員 ※こども保育コースの学生も勉強のため参加します。	

桜の聖母短期大学 福島市花園町3-6 ☎ 024-534-7137 (代表)